新区意見交換会(R8.8.18)結果[概要]

日　時:令和８年８月18日(火)　19:00～20:10
場　所:大津町生涯学習センター　大会議室
出席者:新区関係者[●]　区長、地区住民14名
　　事務局[○]　部長、学校教育課、教育施設課(５名)

■次第
１　開会
２　教育部長挨拶
３　本日の趣旨説明
４　現状の説明
５　アンケート結果の説明
６　現通学路(大津小)と想定通学ルート(南小)の距離比較等
７　意見交換

■意見交換の記録【「メリット」や「心配な点」「懸念点」について】
《仮に校区が「南小」になった場合》
[メリット]
●新しい設備環境(校舎)で学べること。
●(少人数で授業を受けられることによる)学力向上への期待。 など

[心配な点・懸念点]
●通学路に対する心配
・通学路に用水路があると「転落」等が懸念される。
・想定通学ルートは農道で道幅が狭く、朝の通勤時間帯の交通量も多い。
・狭い通学路に工事車両が通ることや、歩道が無いことが危険。
・想定通学ルートには民家が少なく、見守る人が居るのか心配。
・歩道や横断歩道が無い。
・連日、猛暑が続く中、大津小の通学ルートには「クーリングシェルター」が見られるも、南小の想定通学ルートには、それが無いのが心配される。
・想定通学ルートの全てにおいて街灯が少なく、安全確保が懸念される。
・大津小の通学路は歩道もあり人も居るため、安全面では全然違う。
(国道57号を跨がないので車通りも少なく安全と考える保護者も)

●保護者負担の増加に対する心配
・旗振りが嫌で登校班を抜けていく親が多い中、（想定通学ルートだと）旗振りする箇所が大津小登校時より多くなり、保護者負担が増える。

●児童の中学校進学時の心配
・（大津小より児童数が少ない）南小に通うと、中学校進学時に（生徒数が大幅に増えて）学校になじめるか心配。
（自身の体験から「（小学校が）少人数だったのは良かった」との保護者も）

【その他（質問、要望等）】
●空調はどの学校でも整備（導入）されているのか。
〇教室については町内全ての小・中学校で導入済み。体育館は今年度、大津中と大津北中に導入予定で、来年度以降小学校に順次導入予定。

●大津小か南小か、保護者が選べる「選択制」になった場合、登校班の編成が大変になるのではないか。
〇通学区域は、地域コミュニティの関係や10月実施の学級編成が困難になることから、世帯ごとに学校を選択する「学校選択制」は検討していない。「新区」「灰塚区」といった区ごとに選択することになる。

●校区が変更になった場合、兄弟姉妹で異なる学校に通わないといけなくなるのか。
●校区が変更になった場合、途中で小学校を変更しないといけないのか。
〇過去に、大津小から美咲野小が分離した時は、経過措置を設けるなどして柔軟な移行期間を設定した。仮に校区が変更になる場合、同様の経過措置を検討することになる。

【新区としての考え方（意見交換会参加者の感触）】
◆大津小の通学路の方が安全だと考えられている方が多い印象。
（大津小に通う「デメリット」に言及なし）
◆南小に校区を変更するなら、通学路の安全をしっかり確保する事が必要。